

“ にぎわいのある 文化の薫るまち 富田 ” をめざして

**富田地区**  
**都市計画マスタープラン**  
**(地域・地区別構想)**

平成24年 3月

四 日 市 市

## はじめに

四日市市では、少子高齢、人口減少社会の到来の中で、今後とも四日市市が活力を持続していくための‘まちづくりの目標’として「四日市市都市計画マスタープラン全体構想」を平成14年7月に策定しました。その後、平成20年3月には全体構想の一部変更を行い、さらに、平成23年度を初年度とする総合計画の策定に併せ、平成23年7月に都市計画マスタープラン全体構想の改定を行なったところです。

改定後の全体構想では、まちづくりの基本的な考え方として、「生活者の視点に立つまちづくり」「既成市街地等の再整備と有効活用」「自然環境の保全と創出」「誰もが移動しやすい交通環境づくり」「市民と市の協働によるまちづくり」の5点を掲げ、活力ある地域社会の実現を市民と協働のまちづくりに求め、都市計画マスタープランの地域・地区別構想を市民主体で策定する道筋を示しました。

富田地区は、近鉄・三岐富田駅を中心に東海道沿道及び旧海岸線にかけて密集した既成市街地が広がっており、都市計画マスタープラン全体構想の中では、既存の都市機能を活用しつつ、商工業などの経済活動や都市居住を進める「都市活用ゾーン」に位置しています。

市では、都市計画まちづくり条例に基づき、富田地区まちづくり委員会から提案いただいた「富田地区まちづくり構想」を踏まえ、「富田地区都市計画マスタープラン」を策定しました。

### 富田地区都市計画マスタープランとは

- ◆ 四日市市の都市計画の基本的な方針である「四日市市都市計画マスタープラン全体構想」に基づく、富田地区におけるまちづくりのアクションプランとなるものです。
- ◆ 概ね20年後を見通しつつ、今後10年間ににおいて必要な施策を中心に、富田地区の今後のまちづくりの方向を示したものです。
- ◆ 富田地区の特徴や課題を踏まえ、活力ある地域社会と魅力的な地域づくりの実現のために、市民と市が果たすべき役割を示し、その実現にどのように取り組んでいくかを示したものです。
- ◆ 富田地区のまちづくりの指針として、これをもとに様々な分野、人々との連携や協力を進めるためのものです。

# 目次

第1章 富田地区の特徴 .....	1
-------------------	---

第2章 富田地区のまちづくりの基本的方向 .....	2
----------------------------	---

第3章 富田地区のまちづくりへの取り組み .....	3
----------------------------	---

1. 安全・安心のまちづくり .....	3～4
2. 住みやすいまちづくり .....	4～5
3. 伝統文化を活かしたまちづくり .....	5～6
■概ね10年間に予定する取り組み .....	7～8
■構想図 .....	9

第4章 マスタープランの実現に向けて .....	10
--------------------------	----

## 第 1 章 富田地区の特徴

富田地区は、四日市市の北東部、伊勢湾に面して位置しており、地区内を縦断する東海道沿いは、江戸時代から桑名宿と四日市宿の「間の宿(あいのしゆく)」として栄えてきました。

地域の中心となる近鉄・三岐富田駅は、三岐鉄道とのターミナル駅で、市内では近鉄四日市駅に次ぐ乗降客数を有しており、近接するJR富田駅とともに、四日市市の北の玄関口として重要な役割を担っています。

近年、JR富田駅を含む近鉄・三岐富田駅周辺では、中部圏の中心である名古屋市への通勤などに便利な環境であることなどから、住宅地開発やマンションの立地が進んでいます。

このような公共交通の利便性の高さに加え、地区内には国道1号、国道23号が縦断し、東名阪自動車道や北勢バイパスへのアクセスも容易であることなど、交通利便性に恵まれた地区と言えます。

また、富田地区は、漁業を生業として発達した浜地区、東海道沿いに商業地域として発達した高地区、広く農地が残る茂福地区という3つの特色ある地区から構成されており、現在も、鯨船祭り、石取祭り等の伝統行事を大切に継承しつつ、地区体育祭、文化祭、桜まつり等の近年始まった地域行事も活発に行なわれるなど、地域コミュニティが豊かな地域です。

以上のことから富田地区では、伝統につちかわれた地域コミュニティを守りながら、中部圏都市へのアクセスの良さや公共交通など交通利便性の高さを活かしたまちづくりが期待されています。

## 第2章 富田地区のまちづくりの基本的な方向

富田地区では、富田地区まちづくり委員会による地域住民へのアンケートの実施や2年間に及ぶ議論を経て、「富田地区まちづくり構想」がまとめられました。

まちづくり構想の中では、「安全・安心のまちづくり」「住みやすいまちづくり」「にぎわい（教育文化）のまちづくり」という3つの大きな方針と、将来のまちのビジョンとして「にぎわいのある 文化の薫るまち 富田」が掲げられました。

市では、地区住民の合意のもと提案された「富田地区まちづくり構想」の内容を受け、『富田地区都市計画マスタープラン』における、まちづくりの基本的な方向を以下のように定めます。

そして、この基本的な方向を実現するため、3つの側面から地区のまちづくりに取り組み、必要な施策・事業を展開します。

### まちづくりの基本的な方向

「にぎわいのある 文化の薫るまち 富田」

1. 安全・安心のまちづくり

2. 住みやすいまちづくり

3. 伝統文化を活かしたまちづくり

## 第3章 富田地区のまちづくりへの取り組み

### 3-1 安全・安心のまちづくり

#### (1) 安全・安心な移動の確保

多くの乗降客が利用する近鉄・三岐富田駅及びJR富田駅の周辺や幹線道路の沿線に商業やサービス施設が集積する富田地区には、人やマイカーなどが多く集まってきます。

これからも北部地域の中核的な役割を担う地区であるために、子どもやお年寄りなど誰もが安全に移動できる歩行空間の形成など、交通の安全に配慮したまちづくりを進めます。

#### 取り組みの方針

- ◇ 中央通り(県道四日市鈴鹿環状線)における歩行者等の安全対策の実施について、地域とともに関係機関に働きかけます。
- ◇ 東海道については、路面表示など歩行者等の安全対策を進めます。
- ◇ 市道富田21号線については、水路の暗渠化など歩道整備の実施に向けた検討を行ない、地域の協力のもと実施可能な箇所から整備を進めます。
- ◇ 幹線道路の渋滞などにより、通過交通が生活道路へ流入してくるため、密集市街地などでは、地域と協働で、交通規制の導入など歩行者等の安全を確保するための対策を検討します。

#### (2) 地域と共に進める災害に強いまちづくり

富田地区では、平成10年に富田地区連合自主防災隊が結成され、地域ぐるみでの防災体制が整えられています。大切な命を守るため、地域のみなさんと共に災害に強いまちづくりに取り組みます。

#### 取り組みの方針

- ◇ 東海・東南海地震への対応を進めるため、住宅の耐震診断や耐震改修費用の補助制度などで、建物の安全性の向上を支援するとともに、空き家対策等について検討します。
- ◇ 密集市街地では、緊急時の防災空間の確保や緊急車両の通行を確保するため、地域と協働で、地区計画などの手法も考えながら、まちづくりの方向性を検討します。
- ◇ 津波発生時における住民の安全な避難場所の確保を目的に、「津波避難ビル」の指定等を進めます。

- ◇ 地震による津波などに対応できる強固な防潮堤の整備を、地域とともに関係機関に働きかけます。
- ◇ 地震時などの通行の安全性を確保するため、ブロック塀から生垣への転換を支援します。

## 3-2 住みやすいまちづくり

### (1) 近鉄・三岐富田駅周辺を中心としたまちづくり

近鉄・三岐富田駅は、四日市市の北の玄関口として、平成20年度に西口広場を整備し、平成22年度には駅舎にエレベータを設置するなど、交通結節点としての機能強化を図ってきました。

今後もJR富田駅を含む近鉄・三岐富田駅周辺では、中部圏都市へのアクセスの良さなど、公共交通の利便性を活かした歩いて暮らせる住み良いまちづくりを進めます。

#### 取り組みの方針

- ◇ 近鉄・三岐富田駅及びJR富田駅周辺については、公共交通の利便性を活かした住宅地の再編に向けて、民間活力による土地の高度利用などを促し、共同住宅など都心居住型の住宅供給を進めます。
- ◇ 近鉄・三岐富田駅につながる幹線道路の歩行空間の整備について、地域とともに関係機関に働きかけます。
- ◇ 近鉄・三岐富田駅東側については、土地の高度利用や住環境の保全などを図るため、用途地域の見直しを検討します。

### (2) 十四川を活かした憩いと潤いのまちづくり

十四川沿いの桜並木は市内でも有数の桜の名所として知られており、地域住民の憩いの場として長く親しまれてきました。

今後も、地域の協力のもと、十四川沿いの景観を活かしたまちづくりを進めることで、富田地区固有の風景として将来に伝えます。

#### 取り組みの方針

- ◇ 十四川沿いの自然景観を活かし、地域が主体となって取り組む活動に対して、花と緑いっぱい事業により支援します。また、桜並木の保全のため、必要に応じて樹木医の派遣協力を行いません。

- ◇ 十四川右岸堤防道路については、地域が行なっている花壇作りとともに、堤防道路の路肩整備や路面の改修など、市民が安心して散策し憩えるような空間整備を地域と協働で取り組みます。
- ◇ 十四川に架かる橋や十四川沿いの転落防止柵などの改修、及び水防倉庫の改築にあたっては、景観に配慮した整備に努めます。

### (3) 住環境の保全

富田地区では、商業施設や工場の跡地において、住宅地への土地利用転換が進んでいることから、今後も地域の良好な住環境を保っていくため、建物や街並みのルールづくりを進めます。

#### 取り組みの方針

- ◇ 既存の工場と住宅地が隣接しているなど土地利用が混在している地域や、商業施設や工場の跡地が住居系の土地利用に転換されている地域などでは、将来に渡り良好な住環境を確保していくため、地域と協働で、地区計画の策定や用途地域の見直しなどを検討します。

## 3-3 伝統文化を活かしたまちづくり

### (1) 地域の歴史、伝統文化を活かしたまちづくり

富田地区では、鯨船祭り、石取祭り等をはじめ、半世紀ぶりに復活した虫送りなど、長い歴史を刻む伝統行事が大切に引き継がれており、これらは新旧住民の交流など地域コミュニティの活性化やまちのにぎわいにつながっています。

また、富田地区と他地区の生活、産業、文化すべての面における交流のきっかけとなった東海道は、現在でも歴史的な面影を残しており、その街並みは地区の歴史を現在に伝えています。

今後は、これら地域の歴史や伝統文化などを活かしたまちづくりを進めます。

#### 取り組みの方針

- ◇ 東海道の景観に配慮した道路整備を歩行者等の安全対策を兼ねて進めます。
- ◇ 地域の伝統行事には、多くの人を訪れることから、伝統行事が行なわれる道路などについては、道路側溝の改修など歩きやすい道路空間づくりを進めるとともに、伝統行事に配慮した道路の整備に努めます。



## (2) にぎわいのある交流空間の形成

海浜緑地(東富田町)は、地域の伝統行事であるどんと祭りの会場や、地域が主体となって取り組んでいる花壇作りの活動の場に利用されるなど、地域住民のふれあいの場として親しまれていることから、今後もより多くの地域住民が交流できるようなまちづくりを進めます。

取り組みの方針
◇ 地域が主体となって取り組む花壇づくりなどの活動に対して、花と緑いっぱい事業により支援します。
◇ 海浜緑地(東富田町)内に設置された健康遊具を活用し、地域住民の健康の維持・増進や地域交流の推進を図ります。

概ね 10 年間に予定する地域整備と公共事業の取り組み（まちづくり構想の提案項目併記）

富田地区都市計画マスタープラン		事業概要
地域 地区別構想に基づく地域整備	安全 安心のまちづくり	交通安全対策 【対象区域】 東海道(富田地区内)、市道富田21号線、東富田町など密集市街地 【概要】 1)東海道については、路肩部分のカラー舗装化など交通安全対策を順次進める。 2)市道富田21号線については、地域の協力のもと歩道整備を計画的に進める。 3)密集市街地などでは、地域と協働で交通規制の導入などを検討する。 【実施時期】 1)計画的に整備 2)実施に向けた検討を行い、地域や関係者との協議が整い次第、着手 3)地域や関係者との合意形成を進め、合意が整い次第、着手
		防災まちづくり 【対象区域】 富田地区内 【概要】 1)木造住宅の耐震対策の実施や空き家の除却などを木造住宅耐震補強補助制度により支援するとともに、空き家の活用等について住生活基本計画等の中で検討する。 2)緊急時の防災空間などの確保や、火災時の延焼防止など災害に強い市街地に改善するため、地区計画の活用や準防火地域の指定などを検討する。 3)津波発生時における避難場所の確保を目的に、「津波避難ビル」の指定等を進める。 4)ブロック塀から生垣への転換を生垣設置助成金交付制度により支援する。 【実施時期】 1)無料耐震診断の啓発を継続しつつ、所有者からの申し出により継続的に支援 住生活基本計画については平成 24 年度着手予定 2)地域や所有者との合意形成を進め、合意が整い次第、着手 3)「津波避難ビル」指定の啓発を継続して実施 4)所有者からの申し出により継続的に支援
	近鉄・三岐富田 駅周辺まちづくり 【対象区域】 近鉄・三岐富田駅周辺 【概要】 1)建築物の共同化に伴う計画の策定に対して、共同建替等誘導助成制度などにより支援する。 2)駅東側について、土地の高度利用や住環境の保全などを図るため、用途地域の見直しを検討する。 【実施時期】 1)地域への制度啓発を進めつつ、所有者からの申し出により着手 2)所有者との協議を進め、合意が整い次第、着手	
	住みやす いまちづくり	十四川景観まち づくり 【対象区域】 十四川沿線 【概要】 1)十四川沿いの景観を活かした地域活動に対して、花と緑いっぱい事業補助金により支援する。 また、桜並木の保全のため、必要に応じて樹木医の派遣協力を行なう。 2)十四川右岸堤防道路については、花壇作りに対して花と緑いっぱい事業補助金により継続支援するとともに、堤防道路の路肩整備や路面の改修など歩きやすい道路空間づくりを進める。 3)十四川沿いの施設(橋、転落防止柵、水防倉庫など)の改修にあたっては、景観に配慮した施設の改修に努める。 【実施時期】 1)既存活動を継続的に支援 2)地域との調整を図り、生活に身近な道路整備事業などにより整備 3)施設の改修時に計画的に実施
	住環境の保全 【対象区域】 代官町、富田四丁目(ジャスコ跡地) 【概要】 将来にわたり良好な居住環境を確保するため、地区計画の策定や用途地域の見直しを検討する。 【実施時期】 地域や所有者との合意形成を進め、合意が整い次第、着手	

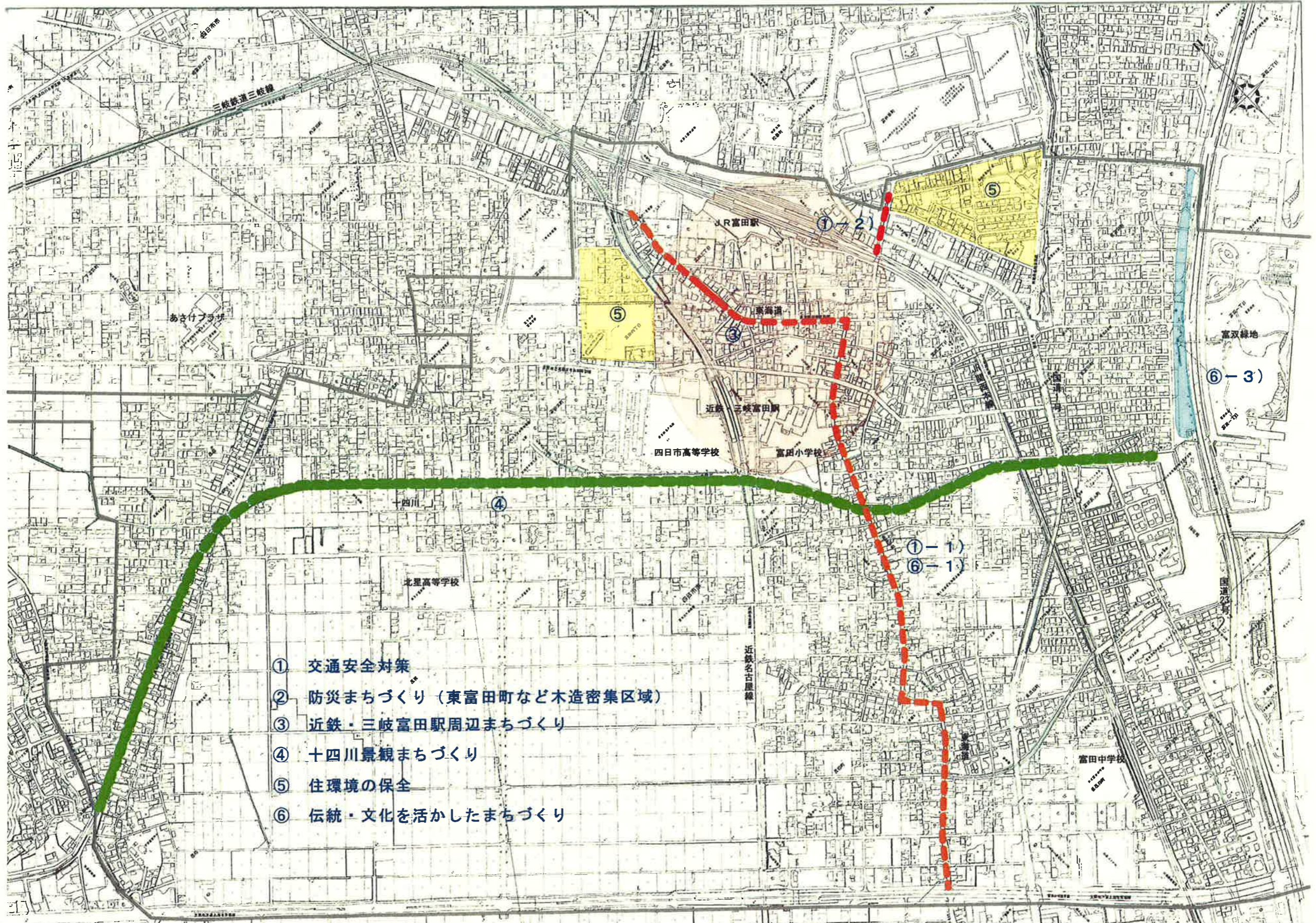
富田地区まちづくり構想		
	地区整備の内容	想定箇所
安全 安心の まちづくり	〔交通まちづくり〕 歩道整備による安全に歩くことのできる道づくり	中央通り(県道四日市鈴鹿環状線) 十四川南側堤防道路
	〔交通まちづくり〕 地域の活性化に向けた骨格となる道路の整備 (富田本町線等の整備は別途委員会等を立ち上げ検討)	富田駅前線 富田本町線
	〔交通まちづくり〕 要所要所でのカラー舗装化による車の速度抑制 付帯施設の改善による交差点での事故の削減	中央通り、東海道など主要道路
	〔交通まちづくり〕 道路のあらゆる場所での地域の安全を向上 (小学校前の安全対策、国道1号高架橋の耐震化など)	東海道、国道1号ほか
	〔交通まちづくり〕 通過交通と域内交通を分けた安心して歩けるまちづくり (東富田町内の交通規制等の実施、市道富田21号線の水路の暗渠化、東富田本町通りの拡幅など)	富田一色富田浜線 市道富田21号線 富田1号線ほか
	〔防災まちづくり〕 空き家など老朽家屋の対策	密集市街地など
住みやす いまちづくり	〔みどり豊かな住みよい環境整備〕 十四川の桜並木を保存 十四川堤防界隈の景観改善(橋、街灯、水防倉庫など) 十四川の清流化(川底の改修、生活排水対策など)	十四川及び十四川沿線
	〔みどり豊かな住みよい環境整備〕 十四川堤防道路の拡幅	十四川南側堤防道路、北側堤防道路
	〔みどり豊かな住みよい環境整備〕 十四川と交差する近鉄踏切の拡幅	十四川左岸堤防道路の近鉄踏切
	〔みどり豊かな住みよい環境整備〕 十四川沿いに多目的公園を整備	十四川沿いの休耕田
	〔街並みづくり〕 無秩序な開発から街並みを守るための規制誘導	既成市街地
	〔空き家、空地、休耕田の活用〕 災害時の避難場所となる小広場の整備	密集市街地など
	にぎわい(教育・文化)のまちづくり 〔賑わい拠点の形成〕 〔伝統文化を活かしたまちづくり〕	浜の遊休地を活用した文化、スポーツ拠点の整備

富田地区から市にご提案いただいた「富田地区まちづくり構想」の内、地区整備に関する提案項目を抜粋したものです。

富田地区都市計画マスタープラン		
事業概要		
伝統文化を活かしたまちづくり	伝統文化を活かしたまちづくり	<p>【対象区域】 東海道(富田地区内)、海浜緑地(東富田町)など</p> <p>【概要】 1)東海道の景観に配慮した路肩部分のカラー舗装化を順次進める。(再掲) 2)伝統行事が行なわれる道路などについては、道路側溝の改修など歩きやすい道路空間づくりを進めるとともに、伝統行事に配慮した道路の整備に努める。 3)海浜緑地(東富田町)において、地域が取組む花壇づくりなどの活動に対して、花と緑いっぱい事業補助金により支援する。</p> <p>【実施時期】 1)計画的に整備 2)地域との調整を図り、生活に身近な道路整備事業などにより整備 3)既存活動を継続的に支援</p>

10年間に予定する取り組みは上記のとおりですが、今後、これらの整備に関する予算の確保に努めていきます。

概ね10年間に予定する地域整備と公共事業の取り組み



- ① 交通安全対策
- ② 防災まちづくり (東富田町など木造密集区域)
- ③ 近鉄・三岐富田駅周辺まちづくり
- ④ 十四川景観まちづくり
- ⑤ 住環境の保全
- ⑥ 伝統・文化を活かしたまちづくり

## 第4章 マスタープランの実現に向けて

### 4-1 まちづくり主体相互間の魅力の向上

地域住民や社会のニーズが多様化する中で、富田地区の活力を支えていくために、地域のみならず、共有できる将来像を育みながら、ひとりひとりがまちづくりに関わり行動することが大切です。

また、地域と行政の双方向のコミュニケーションによるパートナーシップの形成と適切な役割分担が欠かせません。

このため、まちづくりの総合的な調整や調査・研究並びに情報発信など、富田地区都市計画マスタープランの実現に向けて、地域と市が連携した取り組みを進めます。

#### 取り組みの方針

- ◇ プランの実現に向けた、地域のまちづくり組織と市が連携した体制の構築。
- ◇ 多様なまちづくり主体の参画の促進。

### 4-2 富田地区の新たな可能性の開拓

少子高齢化や人口減少時代の到来など地域社会を取り巻く状況は大きく変わりつつありますが、この富田というまちが地域に暮らす皆さんの生活の場であり故郷であることに変わりはありません。

富田地区が「にぎわいのある 文化の薫るまち 富田」であるためには、地域の特色を活かした様々な取り組みにより、暮らしやすい環境を実現していくことが必要です。

このため、地域と行政が協働で、地域のまちづくり活動と連携した、富田地区都市計画マスタープランの進行管理の実施及び公表を行なうとともに、プランの進捗や地域の状況の変化に応じた継続的なフォローアップなど、富田地区の新たな可能性の開拓に努めます。

#### 取り組みの方針

- ◇ 地域のまちづくり活動と連携した、富田地区都市計画マスタープランの進行管理（毎年）の実施と、その内容の公表。
- ◇ プランの進捗や地域の状況の変化に応じた継続的なフォローアップ。